



JAPAN
MARROW
DONOR
PROGRAM

安全情報

平成 18 年 4 月 18 日

(財) 骨髄移植推進財団
認定施設連絡責任医師 各位

財団法人 骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会

採取後、角膜糜爛となった事例について

このたび、非血縁者間骨髄ドナーに、骨髄採取後（麻酔覚醒後）「角膜糜爛」と診断された事例が報告されました。

採取施設からの報告によれば以下のような概要です。

< 経過 >

麻酔終了 4 時間後に左眼の痛み訴えあり。

直ちに、眼科医の往診を受け『角膜糜爛（左眼下部）』と診断される。

退院時は、症状改善されており予定通り退院。

< 対応 >

眼軟膏とヒアレイン点眼及び 1 晩のアイパッチにて対処。

当財団としては、再発防止の観点から、当該事実を各採取施設に対し情報提供し、改めて注意喚起を促すこととしました。

以上をご確認の上、ご対応をお願い申し上げます。

財団法人骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町 3-19
廣瀬第2ビル 7 階
TEL : 03-5280-2200
FAX : 03-5283-5629